

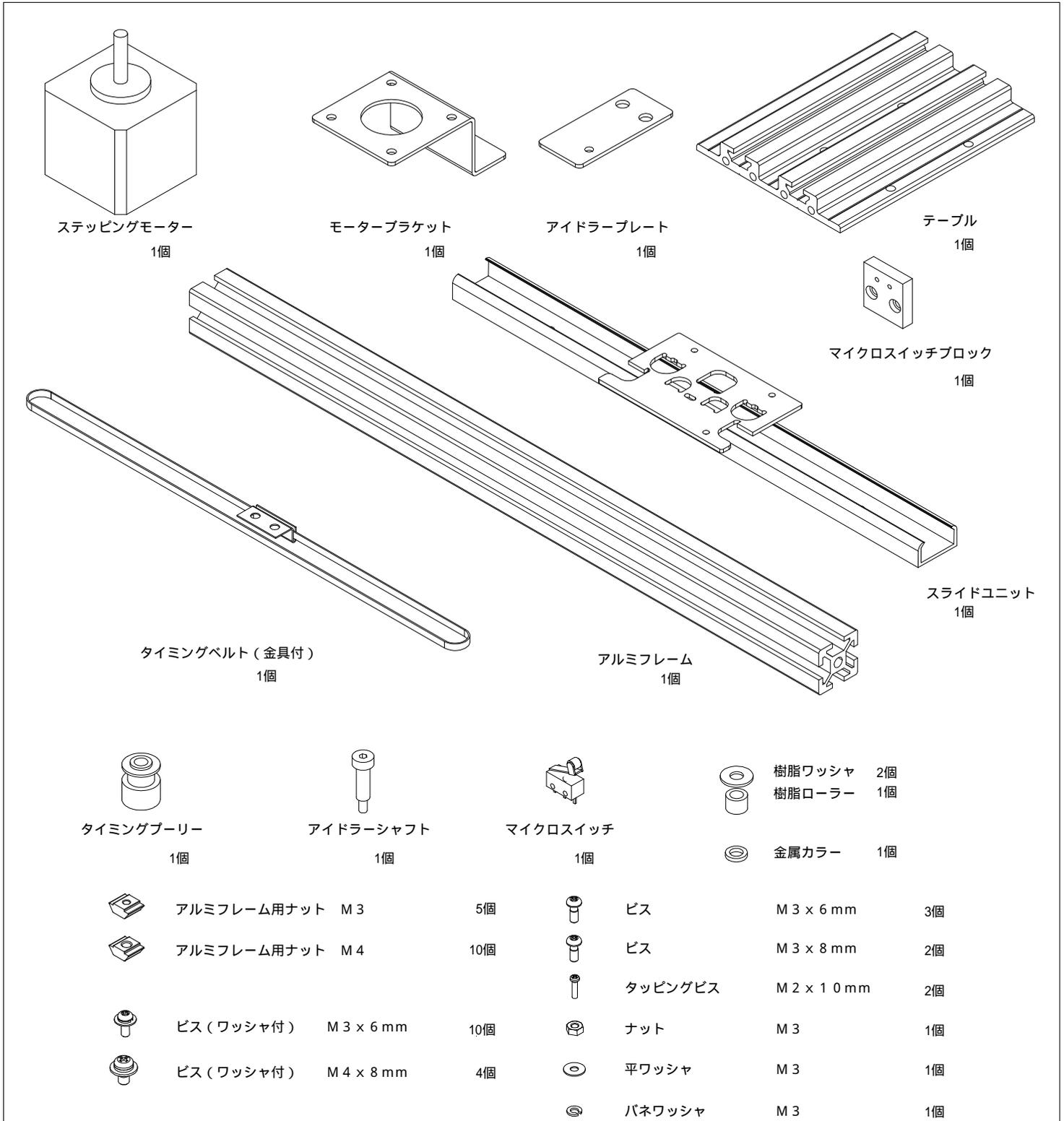
組立前にお読みください

このセットは、制御学習をされる方、自作で機器を作られる方のために1軸の駆動ユニットの部品を集めたものです。お客様の使い方に合わせて自由に改造、拡張していただくことが可能なように考えられています。以下の注意事項をお読みいただきご理解のうえご使用ください

< 注意事項 >

お使いの目的、状況に合わせて制御機器（コントローラー、モータードライバ、電源など）を別に準備していただく必要があります。駆動する部分があるため、指つめなどの事故が無いように安全カバーなども合わせて検討してください。

部品一覧



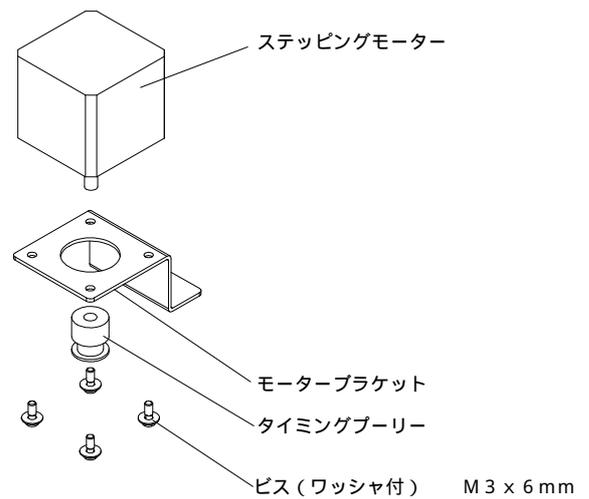
組立に必要なもの

+ ドライバー NO.1	六角棒レンチ 対辺1.5mm	対辺5.5mmのソケットレンチ、スパナなど
+ ドライバー NO.2	六角棒レンチ 対辺2.5mm	配線に必要なハンダゴテ、線材など

各部の組立

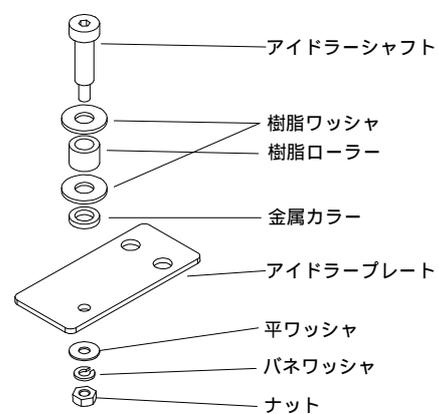
1. モーターの組立

モーターをブラケットにビスで取り付けます。
タイミングプーリー側に埋め込んであるネジを六角棒レンチでいったん緩め、モーター軸に差し込んでから、固定します。
この時、モーター軸の先端をプーリーの端面を合わせるようにします。



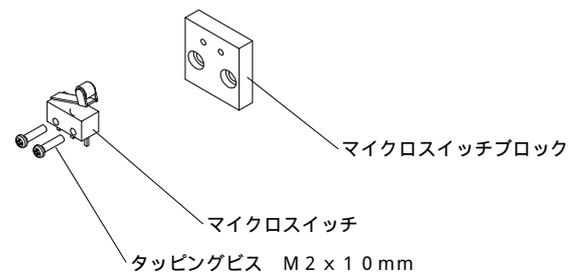
2. アイドラーの組立

右の図のように各パーツを組立ます。



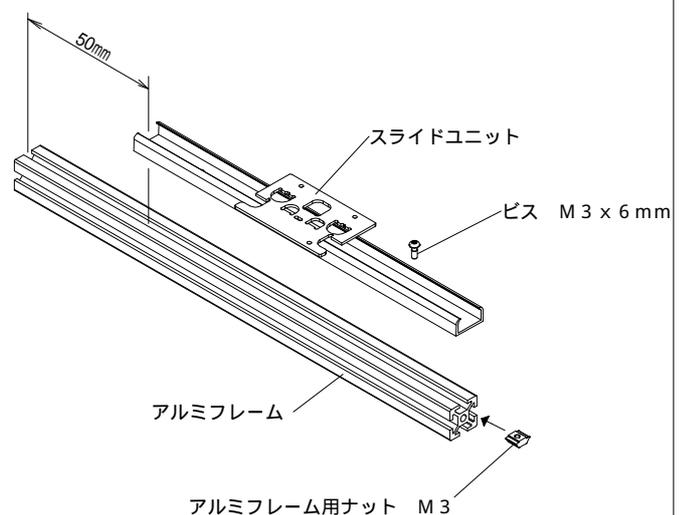
3. リミットスイッチの組立

マイクロスイッチをタッピングビスで取り付けます。



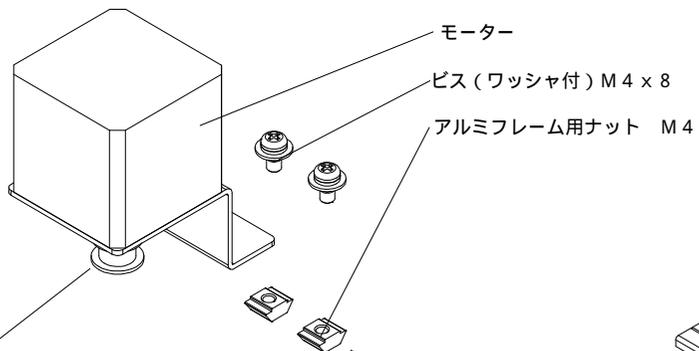
4. スライドユニットの取り付け

フレームの端から50mmあけてスライドユニットを取り付けます。
スライドユニットは、アルミフレームに専用のM3ナットを通しM3 x 6ビスで固定します。



全体組立 番号の順に組み立てます。

モーターをビス(ワッシャ付) M4 x 8 でフレームに取り付けます。



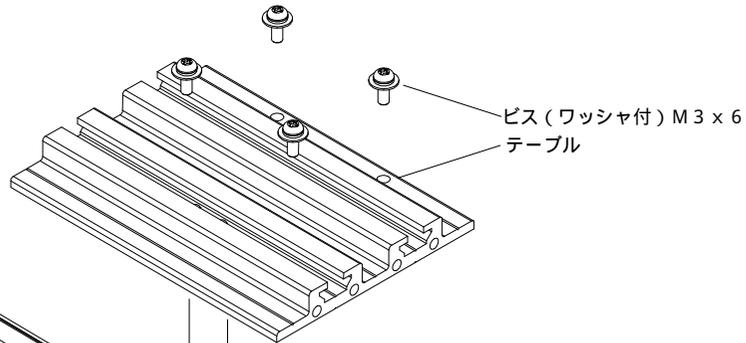
モーター

ビス(ワッシャ付) M4 x 8

アルミフレーム用ナット M4

タイミングプーリー

テーブルをビス(ワッシャ付) M3 x 6 で
スライドユニットに取り付けます。

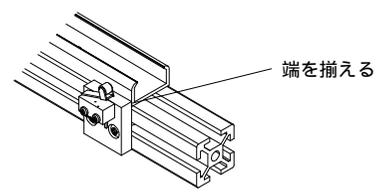


ビス(ワッシャ付) M3 x 6

テーブル

リミットスイッチをフレームに取り付けます。

図のようにレール端面とブロックを合わせると、
スイッチが入ってからストロークエンドまで3mm程度の
余裕ができます。

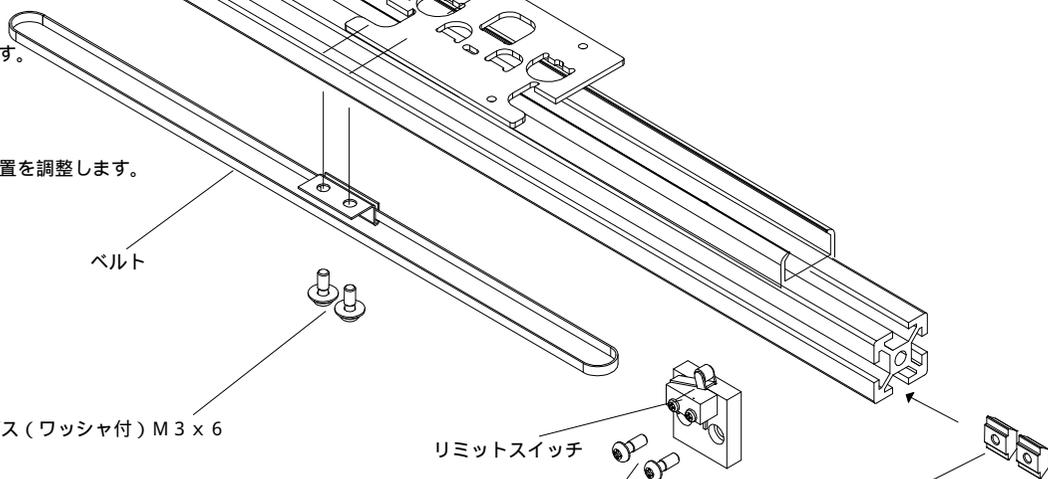


端を揃える

タイミングベルトを掛けます。

フレームの近くを通る側のベルトに金具が付くようにします。
図を見ながら金具の向きに注意して組み立ててください。

ベルトが軽く張力が掛かるようにアイドルの取り付け位置を調整します。



ベルト

ビス(ワッシャ付) M3 x 6

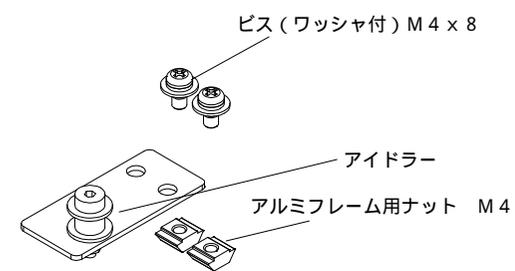
リミットスイッチ

ビス M3 x 8 mm

アルミフレーム用ナット M3

ベルトに取り付けられた金具をテーブルにビス(ワッシャ付き) M3 x 6 で取り付けます。

アイドルをビス(ワッシャ付) M4 x 8
でフレームに仮止めします。

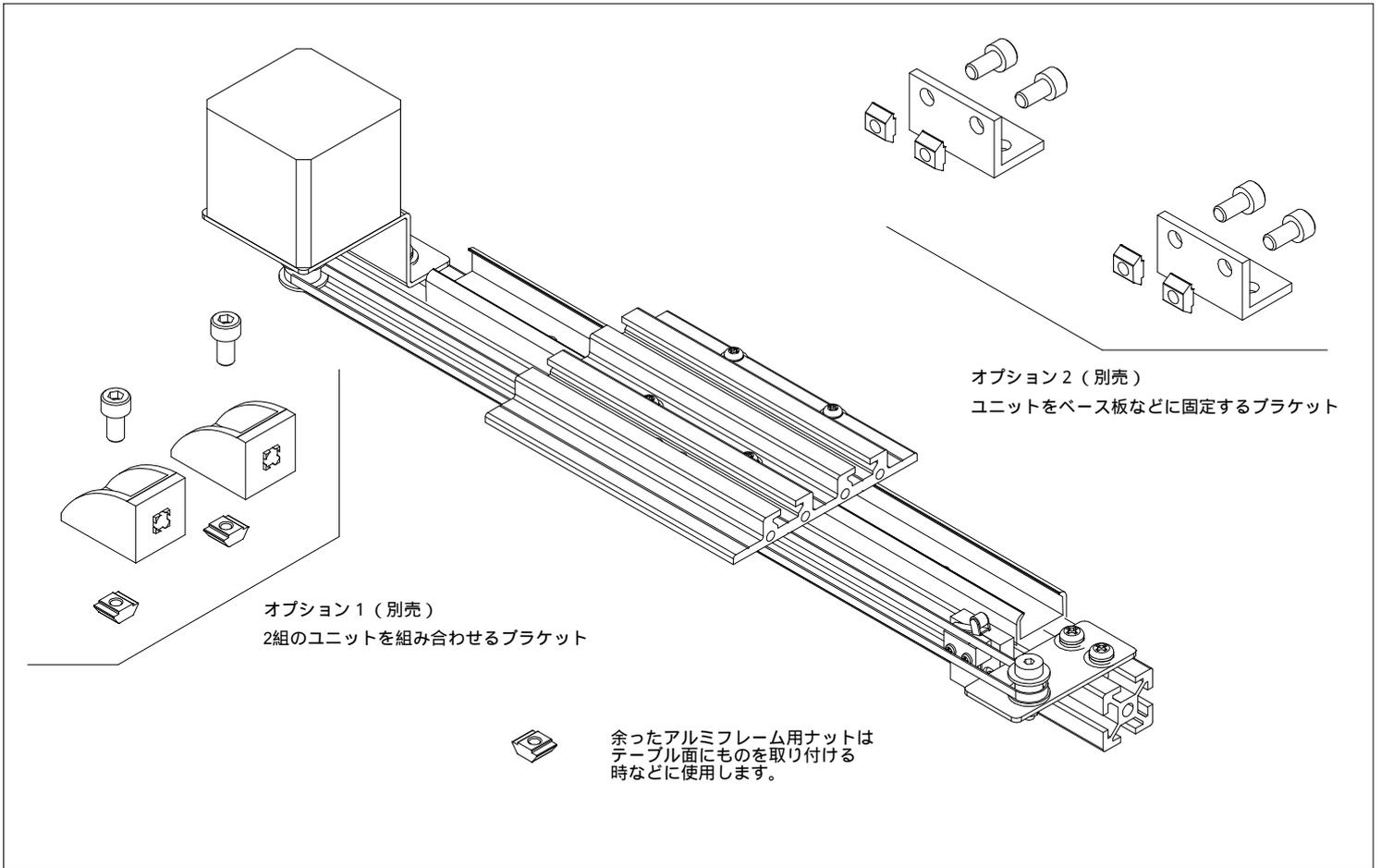


ビス(ワッシャ付) M4 x 8

アイドル

アルミフレーム用ナット M4

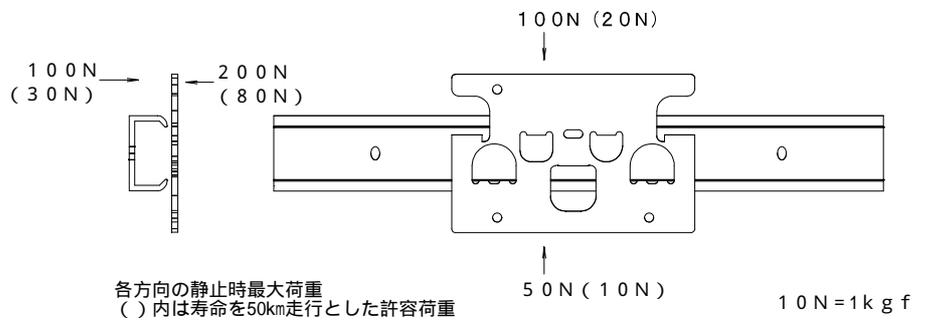
完成図



部品仕様

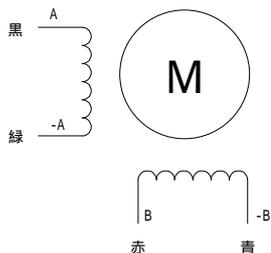
スライドユニット

ストローク	Lタイプ	164mm
ストローク	Sタイプ	84mm



ステッピングモーター

2相 バイポーラ型
基本ステップ角 1.8°
定格電圧 2.8V 定格電流 1.68A
巻線抵抗 1.65
最大静止トルク 3.3kgf-cm



マイクロスイッチ

接点容量 3A125VAC / 2A30VDC

